



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6485 URL <https://www.qso.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷合祐一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 谷口陽一郎 TEL 03-3716-1512
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,826	2.4	758	39.2	792	36.4	527	47.4
2024年3月期第1四半期	7,645	3.9	544	5.3	581	5.5	357	△2.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 946百万円 (61.8%) 2024年3月期第1四半期 584百万円 (76.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	24.91	—
2024年3月期第1四半期	16.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	46,631	39,380	84.5	1,866.05
2024年3月期	45,965	39,039	84.9	1,840.77

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 39,380百万円 2024年3月期 39,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	15,850	1.4	1,220	2.5	1,310	4.0	860	6.4	40.55
通期	32,000	△0.0	2,580	4.6	2,730	5.1	1,780	5.9	83.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	21,500,000株	2024年3月期	21,500,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	396,406株	2024年3月期	291,806株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	21,166,544株	2024年3月期1Q	21,927,224株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、不安定な国際情勢、原材料・エネルギー価格の高騰に加えて、為替の動向や物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経済状況下、当社グループは、給水装置事業におきましては、水道事業者が発注する配水管布設替工事への、着実な当社製品の納入を継続して確保しつつ、あわせて耐震性や施工性に優れた製品の提案活動に注力いたしました。また、主要原材料である銅の価格や電気・ガスのエネルギー費、輸送コスト等を注視し、適切に販売価格に反映させ収益を確保してまいりました。

住宅・建築設備事業におきましては、ハウスメーカーなど販売チャネルの拡大や空調分野向け製品の販売展開を引き続き推進してまいりました。また、減少基調にある新設住宅着工戸数に対し、需要の確実な捕捉に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高78億26百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益7億58百万円（同39.2%増）、経常利益7億92百万円（同36.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億27百万円（同47.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[給水装置事業]

給水装置事業におきましては、販売価格改定効果や底堅い配水管布設替工事の需要に下支えされ、売上高は前年同期比7.4%増の42億39百万円となりました。セグメント利益は、主要原材料である銅の価格が高騰しているものの、販売価格の改定効果により、前年同期比14.1%増の13億65百万円となりました。

[住宅・建築設備事業]

住宅・建築設備事業におきましては、新設住宅着工戸数が低調に推移したことにより、売上高は前年同期比3.5%減の29億67百万円となりました。セグメント利益は、売上高の減少により前年同期比7.6%減の4億80百万円となりました。

[商品販売事業]

商品販売事業におきましては、鑄鉄商品の販売が減少したことから、売上高は前年同期比0.5%減の6億18百万円、セグメント利益は84百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、466億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億66百万円増加しました。これは主に、電子記録債権が5億87百万円減少しましたが、棚卸資産が4億65百万円、建設仮勘定が1億27百万円、投資有価証券が5億30百万円、保険積立金が99百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、72億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が1億11百万円、賞与引当金が1億91百万円減少しましたが、流動負債のその他に含まれる未払費用が4億23百万円、繰延税金負債が1億34百万円、買掛金が88百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、393億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億40百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億66百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初計画通りの推移であり、通期の業績につきましては、2024年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,845	10,826
受取手形及び売掛金	5,384	5,367
電子記録債権	6,918	6,330
商品及び製品	5,872	6,243
仕掛品	103	139
原材料及び貯蔵品	1,336	1,395
その他	244	340
流動資産合計	30,706	30,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,231	2,206
機械装置及び運搬具(純額)	665	687
土地	4,622	4,622
建設仮勘定	72	199
その他(純額)	270	277
有形固定資産合計	7,861	7,993
無形固定資産		
ソフトウェア	454	436
のれん	237	227
その他	23	23
無形固定資産合計	714	687
投資その他の資産		
投資有価証券	5,304	5,834
長期貸付金	4	4
保険積立金	1,260	1,360
繰延税金資産	14	12
その他	101	97
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,681	7,305
固定資産合計	15,258	15,986
資産合計	45,965	46,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,052	3,141
電子記録債務	794	760
未払法人税等	474	362
賞与引当金	259	67
役員賞与引当金	29	10
有償支給取引に係る負債	49	61
その他	1,053	1,504
流動負債合計	5,712	5,907
固定負債		
繰延税金負債	611	745
退職給付に係る負債	534	523
資産除去債務	4	4
その他	62	69
固定負債合計	1,213	1,343
負債合計	6,925	7,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,909	3,912
利益剰余金	29,600	29,661
自己株式	△312	△454
株主資本合計	36,556	36,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,229	2,595
為替換算調整勘定	281	332
退職給付に係る調整累計額	△28	△26
その他の包括利益累計額合計	2,483	2,902
純資産合計	39,039	39,380
負債純資産合計	45,965	46,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,645	7,826
売上原価	5,371	5,416
売上総利益	2,274	2,409
販売費及び一般管理費	1,729	1,650
営業利益	544	758
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	37	37
その他	18	16
営業外収益合計	60	56
営業外費用		
為替差損	10	21
保険解約損	13	—
その他	0	0
営業外費用合計	24	22
経常利益	581	792
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	581	792
法人税等	223	265
四半期純利益	357	527
親会社株主に帰属する四半期純利益	357	527

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	357	527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	366
為替換算調整勘定	35	50
退職給付に係る調整額	△29	1
その他の包括利益合計	227	418
四半期包括利益	584	946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584	946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

〔「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用〕

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	給水装置事業	住宅・建築 設備事業	商品販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,947	3,076	621	7,645	—	7,645
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	—	0	0	△0	—
計	3,947	3,076	621	7,645	△0	7,645
セグメント利益	1,197	519	56	1,773	△1,228	544

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,228百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△1,232百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	給水装置事業	住宅・建築 設備事業	商品販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,239	2,967	618	7,826	—	7,826
セグメント間の内部売上高 または振替高	△0	—	—	△0	0	—
計	4,239	2,967	618	7,826	0	7,826
セグメント利益	1,365	480	84	1,930	△1,172	758

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△1,172百万円は、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△1,189百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式104,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1億41百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4億54百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	154百万円	158百万円
のれんの償却額	9	9